

経営健全化方針に基づく取組状況（令和4年度）

○法人名 有限会社 板馬養殖センター

○経営健全化方針を策定した理由

南城市・知念漁業協同組合・有限会社 日建商事の三者が出資し、令和元年度決算で146,914千円の債務超過に陥っているため。

○財政的リスクの状況

	令和1年度（第39期）	令和2年度（第40期）	令和3年度（第41期）	令和4年度（第42期）
	決算	決算	決算	決算
債務超過額（千円）	120,414	126,917	102,068	113,150

○主な取組状況

<p>【法人自らによる経営健全化のための具体的な対応】</p> <p>世界情勢の変化の中で電気料金や飼料等が高騰している。それに伴い車海老養殖にかかる経費も上がってきており、これらを削減するため活車海老の出荷時期を、単価の高い12月をメインとし出荷時期を短縮する。</p> <p>コロナ禍が落ち着いたことにより観光客も戻りつつあるため、活車海老の出荷がない時期は観光客にも需要がある海ぶどうを製造・出荷することで安定的な売上を実現する。</p>
<p>【地方公共団体による財政的なリスクへの対処のための対応】</p> <p>昨今の原油価格や物価高騰の影響により製造原価の増大や市場単価の低迷により今期は経常損失となっている。</p> <p>南城市配合飼料緊急対策支援事業の活用による経営支援を図るなど、養殖池の漏水や越波対策についても沖縄県へ引き続き対策工事を実施するよう要請するとともに、経営健全化に向け新たな事業展開についても調整を進めている。</p>

○法人の財務状況

（貸借対照表から）

（千円）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
資産総額	50,673	37,785	61,904	35,946
（うち現金預金）	34,898	16,406	29,816	5,673
（うち売上債権）	1,800	4,882	3,974	1,228
（うち棚卸資産）	4,759	6,822	10,366	9,588
負債総額	171,087	164,702	163,973	149,096
（うち南城市からの借入金）	14,000	0	0	0
純資産総額	△ 120,414	△ 126,917	△ 102,068	△ 113,150

(損益計算書から)

(千円)

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
経常収益	40,079	38,527	72,046	59,113
経常費用	52,483	54,042	64,626	73,039
経常損益	△ 12,404	△ 15,515	7,418	△ 13,926
経常外損益	5,513	9,192	17,608	3,024
法人税	180	180	180	180
当期純損益	△ 7,070	△ 6,503	24,846	△ 11,082